

〈おうちカンパニー株式会社 グループ会長 藤井正和より〉

株式会社 home diary の皆様、おうちカンパニー 左京一乗寺店のオープンおめでとうございます。株式会社 home diary にとって、おうちカンパニーの店舗は北山駅前店に続いて2店舗目。そして春には3店舗目のオープンも視野に入れられているとのことで、とても強い勢いを感じます。

取締役の森尾舞さんもお話しされていますが、社名の home diary には、

『~おうちさがしをご家族の思い出に~

home diary にはお客様におうちさがしを楽しんでもらいたいという想いがあります。「おうちさがし~おうちのお引渡し、そしてこれから。」全ての過程が愛おしく日記に綴りたくなるような ご家族の素敵な思い出になるよう努めます。』

という想いが込められていると聞きました。

本当に素敵な社名です。おうちさがしの過程までも人生の一ページに刻んでほしいという想いを持つ、優しくてホスピタリティに溢れる会社様なのだと思います。

森尾さんがお客様におうちのご提案をしている様子は、正にホスピタリティの塊です。

高額な注文建築の時にハウスメーカーが行うような、手描きイラストを用いた打ち合わせは圧巻です。森尾さんと触れ合ったお客様は、たちまち森尾さんの大ファンになります。

さて、株式会社 home diary の代表取締役社長の池田昂平社長と私は、かれこれ8年の付き合いがあります。池田社長が社会人として住宅不動産業界にデビューする頃から、ずっと近くで見してきました。

池田社長はバリバリ仕事に打ち込むモーレッツ社員タイプでもなく、エリートタイプでもありません。池田社長はおっとりとしていて仲間思いでお客様思い、とにかく優しい人柄です。従来の厳しい不動産業界の営業職としては、成果を作ることができずに苦労するタイプです。

しかし、池田社長は「お客様のために。仲間のために。」との姿勢を一切崩さずに丁寧で優しい接客をし続けた結果、お客様から絶大なるご支持を集める営業マンになり、その姿勢のまま大手不動産会社で店長職を務めていました。そして30歳を機に株式会社 home diary を開業されたのです。生き馬の目を抜く住宅不動産業界で、株式会社 home diary のような優しい会社が、池田社長のようなおっとりとした経営者が存在することは、住宅不動産業界にとって大きな財産です。

また、株式会社 home diary には河瀬綾花さんというキーパーソンがいます。

河瀬さんは凛とした人物で、どんなことにも前向きに挑戦されます。株式会社 home diary 以前に在籍していた会社では、イベントの責任者や新店舗のオープンをやり遂げ、おもてなし部という新しい部署を開設して大活躍されていました。そして宅地建物取引士でもあります。